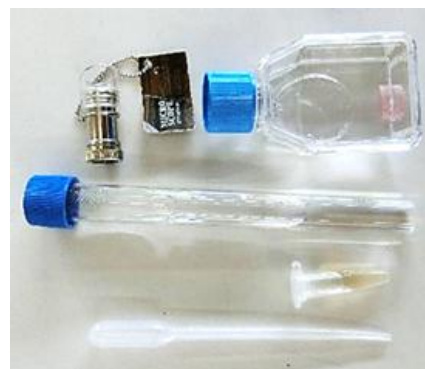


マイウニ飼育プログラム 実践協力校 募集案内

■ プログラム概要

本プログラムは、ウニの受精から稚ウニへの変態までの成長過程を生徒が継続的に観察・記録する「マイウニ飼育」を通して、生命の営みや海洋環境への関心を育てることを目的とした海洋教育プログラムです。

生徒一人ひとりにウニを割り当て、人工授精から始まる成長の様子をおよそ3か月間にわたり飼育・観察することで、生命の尊さ、生物多様性の理解、無脊椎動物に対する態度の変容を促します。理科授業や総合的な学習の時間などに導入可能で、観察スケッチや感想記述といった体験的活動を通じて、持続可能な社会の形成に資する学びを目指します。なお、本プログラムで使用するウニは、日本近海産の「バフンウニ (*Hemicentrotus pulcherrimus*)」です。



マイウニ飼育のイメージ

■ 募集要項（概要）

- 対象：中学校・高等学校（理科・総合的な学習時間等で実施可能な学校）7校

中学1年・高校1年生徒を対象（1学年100名程度）

- 実施期間：令和7年10月上旬～2月下旬の内の3か月程度（応相談）

- 協力内容：

- ・教材・飼育器具等の運搬費は協力校でご負担いただきます
- ・生徒・教員対象のアンケート調査への協力
- ・観察スケッチ・感想等の記録提供

- 研究者側の支援

- ・ウニおよび飼育器具一式の提供
- ・学習プログラムの実施および飼育に関するオンライン相談対応

■ 応募方法

所定の申込書に記入のうえ、以下のメールアドレスへお送りください。

提出先：武蔵野大学 小川博久 h005747@ptf.musashino-u.ac.jp

（件名に「マイウニ飼育プログラム協力校応募」とご記入ください）

応募〆切 令和7年7月11日（金）

■ 応募にあたっての条件

- ・本プログラムへの応募にあたっては、必ず所属長（校長等）の承認を得てください。
- ・本研究は3年間の継続的な実施を予定していますが、複数年にわたり応募いただく場合でも、原則として新規の協力校を優先いたします。
- ・各年度の研究期間終了後における稚ウニの継続飼育については、各校の判断により任意でご対応いただくことを前提としています。

■ 本事業の助成について

本研究は、日本学術振興会 科学研究費補助金（若手研究 25K17110）により 3 年間実施されます。

本研究の目的は、体験を通じた海洋教育の実践を通じて、生徒の生命観や生物多様性への関心を育成し、持続可能な社会づくりに資する教育的手法を検証することにあります。

■ 参考文献

小川 博久（2020）．ウニの受精から成体まで-生命を実感するマイウニ飼育の実践

生物の科学 遺伝別冊，71(4)，株式会社 NTS，167-176.

小川 博久（2020）．マイ・ウニ飼育から 海を学び、考える ―ウニの受精から放流までの学習活動を通して
学術の動向，日本学術協力財団，25（7），94-97.

ご不明な点をご連絡ください。皆様のご応募をお待ちしております。